第６回ふるさとジオ塾「幌満ポットホール探検＆形成実験」

11月12日

今回のジオ塾は 16 人が参加し、川底や川岸などの岩場のくぼみで小石が回転することによってできる「ポットホール（おう穴)」について、町商工観光課加藤主査を講師として実験等が行われました。最初に屋内で水道の水を使って川の流れを再現し、河床に見立てたスポンジ材にポットホールができていく様子を観察しました。その後、幌満川上流部で実際にポットホール探しを行い、大小さまざまなポットホールを見つけることができた参加者は、偶然が重なることによりできる自然現象について理解を深めていました。

第９回日本ジオパーク全国大会・アポイ岳大会住民説明会

11月21日～29日

今年 10 月に開催予定の日本ジオパーク全国大会・アポイ岳大会に関わる住民説明会が町内５カ所で行われ、約 100 人の住民が集まりました。説明会では、はじめにジオパークとはどのようなものなのかを改めて説明し、その後、過去に行われた全国大会の流れやアポイ岳大会で考えられるおおまかな日程、使用施設などについての説明をするとともに、町民のかたがたへ環境整備などのご協力をお願いしました。参加者からは宿泊受入れなどについての質問が出されました。大会の具体的内容は春ごろに広報等でお知らせする予定ですが、過去に例のない大きな大会になることから、町では多くの町民や団体、事業所に協力をお願いすることとしています。

第７回ふるさとジオ塾「宇宙と地球そしてアポイ岳」

12月13日

東静内小学校の教員で、アポイ岳ジオパーク認定ガイドの島田哲也氏を講師に招き、宇宙の成り立ちから星の寿命、地球のプレート運動、アポイ岳の形成までについての座学が行われ、22 人の参加者が壮大な話に興味深く耳を傾けていました。

アポイドリームプロジェクト

12月15日

アポイ岳ファンクラブが主催し、様似中学校の総合学習で取り組んでいる、高山植物の苗をアポイ岳に移植して「お花畑」復活を目指す、アポイドリームプロジェクト。この日はプロジェクトの提唱者である増澤武弘静岡大学特任教授が来町して、１年生へプロジェクトの意義などについて説明をし、アポイアズマギクとエゾコウゾリナの種をプランターに植える作業を行いました。このプランターは生徒が自宅に持ち帰り発芽させ、６月にアポイ岳へ移植する予定です。生徒たちは芽が出るのを心待ちにしている様子でした。

第３回アポイ岳自然セミナー×第８回ふるさとジオ塾

12月18日

アポイ岳の自然の大切さと保全活動の意義を学ぶセミナーの３回目。今回は北海道大学大学院教授の大原雅氏を招き、植物の基礎的なことを題材に講演が行われました。講演では、植物は実際どうやって生きているのか、またどのように花の数を増やしているのかなどを果物を使ってわかりやすく説明していました。また、同行した北海道大学の学生らが普段行っている実験風景を再現する演出もあり、集まった 38 人の町民は、アポイ岳の自然の貴重さを改めて感じているようでした。

ジオパーク全国大会で優秀賞！様似中学校生徒のポスター発表開催！

12月20日

昨年 10 月に秋田県の男鹿・大潟半島で開催された第８回日本ジオパーク全国大会のポスターセッションで、優秀賞に輝いた様似中学校生徒によるポスター発表会が、同日開催されたコミュニティ・スクール熟議の前に中央公民館ロビーで行われました。発表者の６人は大勢の前でも堂々と、アポイ岳の花などの写真フリップを使ったり、実際にかんらん岩がどのようなものかを見せたりするなど、工夫を凝らした説明を行い、訪れた人たちはうなずきながら聞いていました。